



阿蘇 草原再生

子どもたちへ引き継ぐ千年の草原

No.16

阿蘇草原再生ニュースレター

2009.1

<http://www.aso-sougen.com>



冬に向かう米塚周辺
登山道路から、揺れるススキの向
こうには採草後の草原模様。

Topics 阿蘇草原再生に向けて 野草地環境保全計画づくり

今年度、小堀牧野、二塚牧野、湯浦牧野(阿蘇市)、 池ノ窪牧野(南阿蘇村)で実施中!

阿蘇の草原景観と生物多様性豊かな野草地環境の保全・再生に向けて、環境省では、地元牧野組合等による野焼きなどの維持管理活動を支援するため、牧野毎の「野草地環境保全計画(牧野カルテ)」の策定を進めています。

計画づくりには組合員の方々が主体的に関わり、牧野利用や維持管理の経緯、植物の生育状況、牧野内の地理・地名などの調査を行った上で、野草地を保全していくための課題や方策について検討します。検討結果から、野焼きの安全性確保や作業負担軽減などのために、作業道整備や防火帯整備、小規模樹林地除去を必要とする牧野では、次年度以降に阿蘇草原再生事業として実施を計画していきます。

※過去に実施した計画書をご覧になりたいかたは
ホームページにアクセスを。

平成 20 年度に
野草地環境保全計画
づくりを行う牧野



長野牧野で野焼きを再開しました!

中央火口丘周辺に位置する長野牧野(南阿蘇村)では平成 18 年度に「野草地環境保全計画」を策定。牧野組合員の減少と高齢化のため野焼きが中止されていた野草地約 10ha の野焼き再開について、関係者間で約 2 年間協議を重ねた結果、平成 20 年 4 月、10 年間ぶりに野焼きを実施しました。

野焼き実施に向けての支援事業

- 地元牧野組合と阿蘇グリーンストックの支援ボランティア計約 80 名による輪地切り、野焼きの実施
- 環境省による作業道整備(約 700m)、樹林地除去(1.26ha)、防火帯整備(27m)の実施

組合長から

野焼きの前は延焼や事故が心配で夜も眠れないほどでしたが、皆さんのおかげで安全に終わることができました。作業道整備で干し草切りがしやすくなりましたし、今後も保全計画を活かして牧野を利用管理していきたいと思えます。



輪地切り作業後に集合(H20.3.1)



野焼きの様子(H20.4.27)